

平成 30 年度 事業報告

社会福祉法人 風舎

平成 30 年度 事業報告書

社会福祉法人 風舎

■平成 30 年度を振り返って

平成 30 年度は、風舎再生への第 1 歩としての 1 年目と捉え、再生のための計画という色合いの濃い事業計画だったが、到達目標の半分もできていないのが現状である。次から次と新たな問題が発生し、その処理に追われている間に一年が過ぎてしまったというのが実感である。

しかしながら、そのような経緯の中で「組織の重要性」、また「法人と職員の連携の大切さ」等、具体的に課題が見えてきたことや、なすべきことの優先順位が分かってきたことなど、改めて認識できたことは、次に繋がっていくものと受け止めている。

平成から令和へと元号が変更になった節目とも言える今後の一年、平成 30 年度にやり残したことを含め、風舎再生に向け、役員と職員が一丸となって事業の推進を図っていきたい。

■法人理念

誰もが望む地域で普通に暮らせる社会の実現を目指す

そのために、「生きる力を育む」

- * 「生きる力」とは — 伝える力
- 身体力
- 移動力

《法人本部》

1. 役員会・監事監査（平成 31 年 3 月 31 日現在）

(1) 定員

理 事 6～8 名

監 事 2 名

評議員 7～9 名

(2) 開催状況

会 議	期 日		出席者数(人)		承認内容
理事会	平成 30 年	4 月 23 日	理事 6	監事 1	役員変更
		6 月 4 日	理事 7	監事 2	平成 29 年度事業報告等
		11 月 27 日	理事 7	監事 2	平成 30 年度中間決算等
	平成 31 年	3 月 6 日	理事 7	監事 2	平成 31 年度事業計画等
監事監査	平成 30 年	5 月 31 日	監事 2		平成 29 年度監査
評議員会 (定時)	平成 30 年	5 月 9 日	評議員 7	監事 0	役員変更
		6 月 19 日	評議員 8	監事 1	平成 29 年度会計等
	平成 31 年	3 月 26 日	評議員 7	監事 1	役員の報酬に関する規程変更

2. 平成 30 年度社会福祉法人風舎事業（平成 30 年 3 月 31 日現在）

① 本部

所在地 宮崎県日向市富高 6522 番地
職員 事務職員 2 名
厨房 管理栄養士（委託） 1 名、調理員 3 名

② 就労事業（多機能型）「風舎・とみたか」

所在地 宮崎県日向市富高 6522 番地
●全体 管理者兼サービス管理責任者 1 名

◆就労移行支援事業

定員 6 名（現員 4 名）
職員 就労支援員 1 名、職業指導員 1 名（非常勤）、生活支援員 1 名

◆就労継続支援 B 型事業所 風舎

定員 30 名（契約 30 名）
職員 生活支援員 1 名、目標工賃達成指導員 1 名、職業指導員 2 名、作業員 4 名

③ 生活介護事業所「風舎・つるまち」

所在地 宮崎県日向市鶴町 3 丁目 50 番地 8
定員 20 名（契約 17 名）
職員 管理者（兼務） 1 名、サービス管理責任者 1 名、看護師 1 名、生活支援員 7 名

④ グループホーム（介護サービス包括型）

●全体 管理者（兼務） 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 4 名

A どれみふぁ荘

定員 5 名（現員 5 名）
所在地 宮崎県日向市財光寺 252 番地 3
職員 世話人 2 名（パート）

B どーなつ荘

定員 5 名（現員 5 名）
所在地 宮崎県日向市大字財光寺 186 番地 58
職員 世話人 2 名（パート）

C みんなの家

定員 5 名（現員 5 名）
所在地 宮崎県日向市大字財光寺字長江 255 番地 3
職員 世話人 2 名（パート）、宿直員 3 人（兼務）

D ふぁいとハウス

定員 4 名（現員 3 名）
所在地 宮崎県日向市向江町 2 丁目 106 番地 2
職員 世話人 2 名（パート）

E あおぞら

定員 5 名（現員 5 名）
所在地 宮崎県日向市財光寺沖町 64 番地
職員 世話人 3 名（パート・夜間支援員）

⑤ 短期入所「あおぞら」

区分 併設型・空床型
 定員 2人（空床 5名まで）
 所在地 宮崎県日向市財光寺沖町 64 番地
 職員 ※グループホーム「あおぞら」兼務

⑥ 特定計画相談支援事業所「相談室・トレートール」

所在地 宮崎県日向市富高 6522 番地（風舎内）
 職員 管理者兼相談支援専門員（兼務）1名、相談支援専門員 1名

⑦ 地域生活支援事業 日中一時支援事業

*とみたか

定員 4名
 所在地 宮崎県日向市富高 6522 番地（風舎内）
 職員 管理者（兼務）1名、生活支援員 1名（兼務）

*つるまち

定員 5名
 所在地 宮崎県日向市鶴町 3 丁目 50 番地 8
 職員 管理者（兼務）1名、生活支援員 1名（兼務）

5. 人事関係

A 退職者

正規... 支援員 3名 事務員 1名
 パート... 支援員 1名 調理補助員 1名 世話人 1名
 嘱託... 運転手 1名 ∴合計 8名

B 新採用

正規... 支援員 4名 看護師（正）2名 総務事務員 1名
 パート... 相談支援員 1名 支援員 1名 世話人 2名 調理補助 1名 ∴合計 12名

C 異動

グループホーム管理者兼サービス管理責任者
 → 生活介護・グループホーム・相談支援の管理者

D 雇用形態の変更

2名 … パート職員 → 有期雇用契約職員（1年）
 1名 … 正規職員 → パート職員

6. 法人の動き

平成 30 年	4 月	職員辞令交付式 横井英紀氏による職員研修×2回（於とみたか）
	5 月	横井英紀氏による職員研修（於とみたか）
	6 月	横井英紀氏による職員研修×3回（於とみたか） 坪谷きずな田植え（法人全利用者&職員）
	7 月	労働局によるヒヤリング（育児休業・介護休業規程見直し） 職員全体会（研修含）

	7月	東ソー施設外就労お詫びと依頼（理事長・業務執行理事・就労支援管理者）
	8月	ひよっところ祭り出場参加
	9月	合同保護者会
	10月	坪谷きずな田稲刈り
平成31年	1月	新年の挨拶（於とみたか） 餅つき大会 合同保護者会
	2月	社労士による就業規則変更研修×2回
	3月	社労士による就業規則変更研修

7. 研修・出張

平成30年	4月	しろやま支援学校入学式（就労支援事業所管理者）
	5月	社会福祉法人経営者協議会宮崎県支部総会（業務執行理事） ひまわり法律事務所裁判打合せ（理事長・業務執行理事） 宮崎県障害福祉課訪問（理事長・業務執行理事） ひまわり法律事務所裁判打合せ（理事長）
	6月	解雇裁判（理事長）
	7月	社会福祉法人経営協議会研修（業務執行理事）
	9月	理事研修（理事3名・本部職員1名）
	11月	しろやま支援学校文化祭（業務執行理事） 苦情解決訪問研修（県より2名来訪） 苦情解決セミナー（管理者2名・本部職員）
平成31年	2月	監事研修（監事1名）
	3月	ひまわり支援学校卒業式（ホーム管理者） しろやま支援学校卒業式（就労支援事業管理者）

8. 寄付・助成金・寄贈

江川ブロック株式会社 様 … 生魚2匹

9. 会議

管理者会議（管理者3名・本部職員・時々理事長）… 月2回

運営会議（管理者・主任・サービス管理責任者）… 2か月に1回

10. 連絡会・協議会

日向市・東臼杵自立支援協議会

社会福祉法人 経営協議会

11. その他

平成30年9月13日 … 元職員解雇&時間外勤務裁判 和解（和解金1,500,000円支払い）

12. 課題

施設・車両の老朽化が目立ってきている。この対策が急がれる。

《就労事業（多機能型）「風舎・とみたか」》

■ 就労移行支援事業所

1. 30年度の目標を振り返って

<30年度事業計画での目標>

- ①『1人でも多くの利用者を就職させる』
- ②『就職者の職場定着』
- ③『企業・関係機関との連携』
- ④『利用者拡大』
- ⑤『就職先・実習先の確保』

<結果>

■①②③⑤について

昨年度就職実績2名。現在も職場定着が出来ており、企業・関係機関との連携も取れているので「達成」とする。

■④について

各相談支援員及び支援学校への周知不足、並びにパンフレット作成が出来なかったことによる宣伝不足に因り「未達成」。

2. 定員

6名（現員3名）

3. 利用状況

- ① 入所者…………… 1名（女性、相談支援からの紹介にて入所）
- ② 就職者（退所者）…………… 2名（女性：日向市ハローワーク、男性：MrMax）
- ③ 実習アセスメント入所者…… 1名（女性、1ヶ月）
- ④ 地域別…………… 日向市：2名、椎葉村：1名
- ⑤ 利用者数

年	月	日数	現員	延べ利用者数	年	月	日数	現員	延べ利用者数
30	4	23	3	50	30	10	23	3	61
	5	23	3	50		11	22	3	53
	6	22	3	52		12	23	3	50
	7	23	2	37	31	1	23	3	57
	8	23	3	48		2	21	3	48
	9	22	3	47		3	23	4	48
延べ利用者数 計									601名

4. 職員体制

職 種	常勤・専従	常勤・兼務	計
管理者		1	1
サービス管理責任者		1	1
就労支援員	1		1
生活支援員	1		1
職業支援員	1		1

5. 利用サービス内容

①授業

- ・生活訓練…………身だしなみ、挨拶、金銭管理、電話応対、コミュニケーション力の向上等
- ・体力づくり…………清掃作業等
- ・就労準備訓練……履歴書及び職務経歴書作成、模擬面接、手先の訓練等
- ・技術力向上訓練…作業、パソコン等
- ・公共交通機関、公共機関利用

②企業実習

- ・グローバルクリーン：3人（2日）

③職業判定支援

④就労定着支援

- ・女性：1名（ハローワーク）
- ・男性：1名（こぼる）

⑤健康診断

⑥その他

- ・田植え、稲刈り
- ・忘年会

6. 就職先企業を退職した人

1名（おりなす建材）

7. 職員研修

- ・サービス管理責任者
- ・虐待防止研修
- ・ひゅうが就労・生活支援センター公開研修
- ・施設内研修 ……虐待防止研修（フィールドバック）
 - ・リスクマネジメント研修
 - ・記録研修

8. その他

- ・ひゅうがハローワークとの連絡調整
- ・県北各就労・生活支援センターとの連絡調整等

■ 就労継続支援B型事業所

1. 30年度の目標を振り返って

<30年度事業計画での目標>

- ①『就労支援事業の収益向上。その為の、作業の見直し（生産、ルートの見直し、充実）、農福連携の推進、企業内職作業の確保』
- ②『工賃向上』
- ③『最低月一の余暇支援、自立訓練時間の確保』
- ④『地域交流会・ボランティアの参加・店舗展開準備』
- ⑤『職員・各事業所の連携』
- ⑥『月に一度の防災訓練』

<結果>

■①②③について

販売数、原価、燃料費を考慮して収益向上は厳しいと思われる販売委託先との契約解除、利益の薄い企業内職作業の撤退、売れる商品作りの為の工程見直し、商品開発等により、生産活動全体で約20%の減益となったが、年度後半にはパンの味も好評を得られるようになり、売り上げは上昇しつつある。

農福連携は一カ所から二カ所に増えた。また農福に拘らず、施設外就労に力を入れることによって工賃向上と利用者の意識改革に繋がり、出勤率が上昇した。余暇支援を充実させることと相まって、訓練等給付費の増加に繋がりはつつある。

■④について

職員教育・支援サービスの再構築で精一杯だったこともあり、未達成となった。

■⑤について

シュトーレンやギフト等の製造作業に各事業所から職員を募り一緒に作業を行ったり、事業所単位で行っていたイベントを法人全体で行うことで連携は進んでいるが、まだ発展途上である。事業所・職員が、継続して意識していかなければならないと感じる。

■⑥について

正直に言えば意識が薄かった。日々の業務に追われ、後回しになった。地震など大規模な自然災害の起きる可能性が高いと言われている中、しっかりとした計画作成・実行をしていかなければならない。

2. 定員

30名（契約数 29名）

3. 利用状況

- ① 入所者 …………… 2名（男性、A型と一般企業からの入所）
- ② 退所者 …………… 2名（男性、他事業所：1名、A型：1名）
- ③ 就労移行支援事業へ移籍 …… 1名（女性）
- ④ 地域別 …………… 日向市：24名、延岡市：3名、美郷町：1名、えびの市：1名

⑤施設利用者数

年	月	日数	現員	延べ利用者数	年	月	日数	現員	延べ利用者数
30	4	23	27	510人	30	10	23	26	497人
	5	23	27	531人		11	22	28	542人
	6	22	27	437人		12	23	29	557人
	7	23	27	520人	31	1	23	29	558人
	8	23	26	469人		2	21	29	510人
	9	22	27	507人		3	23	29	560人
延べ利用者数 計									6198人
一日平均*									23.04人

※一日平均人数算出式＝延べ利用者数計÷(365－(8×12))

・29年度_延べ利用者数：6795人

・30年度_延べ利用者数：6198人 **∴昨年度対比 ▲9%**

★31年4月1日以降、新規利用者2名増。

4. 職員体制

職 種	常勤・専従	非常勤・専従	計
管理者	1		1
サービス管理責任者	1		1
生活支援員	1		1
職業支援員	2	2	4
目標工賃達成指導員	1		1

5. 利用者のサービス内容

I 主な行事

月	行 事 内 容
4	健康診断、花見、保護者会
5	県スポーツ大会、ひまわり支援学校運動会来賓、富小運動会
6	きずな田しろかき田植え、保護者会プレゼン
7	七夕まつり、保護者会、金銭管理学習会、みなと祭り
8	ひよっところ祭り、読本勉強会、衛生管理学習会（歯磨き）
9	保護者会、毛利入院
10	日向市スポーツ大会
11	各地イベントにて販売、保護者会
12	ふれあいフェスタ、シュトーレン販売
1	もちつき大会、新年会
2	福祉のつどい、衛生学習会
3	保護者会、防災訓練

*毎月末、利用者考案の誕生会を開催。

II 作業支援

- ・就労支援種目である作業を通して「就労ができる力」を育てる。
- ・工賃向上を目指す

《作業内容》

作業部門	年間売上(円)	備考
パン製造販売	5,522,799	
コロッケの店「クロケット」	1,730,235	コロッケ製造
施設外就労	443,527	黒木農園、百生会、あいあい、除草作業
委託業務	234,578	松野工業、県会議員の広報作業
計	7,931,139	

・29年度_年間売上実績：9,938,552円

・30年度_年間売上実績：7,931,139円

∴昨年度対比 ▲20%

《イベント販売》

販売日	イベント	売上
4/29	門川マルシェ	35,770
5/19	日向病院開院イベント	25,260
5/27	富小運動会	37,900
7/7	日向七夕まつり	4,600
7/15	比良祭り	40,500
7/21	細島みなと祭り	37,390
8/4	ひよっこ祭り	35,900
9/1	椎葉村映画祭り	24,700
9/7	お話サロン	8,270
9/22	延岡学園祭り	98,550
10/7	十五夜祭	69,100
10/21	門川福祉ふれあい祭り	45,020
10/27	HRC 手作りマーケット	42,880
11/3	はまゆう園収穫祭	69,130
11/10	ひむか祭	37,000
12/2	ふれあいフェスタ	36,150
12/7	お話サロン	18,280
1/26	HRC 手作りマーケット	27,240
2/3	福祉のつどい	34,690
2/9	日向南こども園バザー	11,140
2/17	合同発表会	37,820
2/21	こころの健康講座	9,860
2/24	オール日向祭	27,870

販売日	イベント	売上
3/10	延岡春のパン祭り	38,860
3/24	日向市駅前 10 周年	45,855
計		899,735

※計上金額は、上記Ⅱ作業支援《作業内容》のパン製造販売に含まれています。

・29年度_イベント販売実績額：518,910円（16件）

・30年度_イベント販売実績額：899,735円（25件）

∴昨年度対比 73%増

Ⅲ 工賃

利用者による工賃会議にて、売上と経費の出納表に基づいて、利用者の「工賃」として配分する。

・工賃支給日・・・毎月5日

・賞与支給・・・8月・12月

月	人数	支給額	一人平均	備考
4	27	399,697	14,804	
5	27	433,701	16,063	
6	27	412,560	15,280	
7	27	414,019	15,334	
8	26	555,540	21,367	賞与各6,000円含む
9	27	393,460	14,573	
10	26	417,445	16,056	
11	28	440,200	15,721	
12	29	691,520	23,846	賞与各10,000円含む
1	29	416,380	14,358	
2	29	424,985	14,655	
3	29	459,010	15,828	
計	331	5,458,517	16,491	

・29年度_工賃総額：5,865,175円 平均工賃額：16,070円

・30年度_工賃総額：5,458,517円 平均工賃額：16,491円

∴昨年度対比 2%Up

6. 送迎

職員による送迎

年	月	延べ利用者数	年	月	延べ利用者数
30	4	424	30	10	439
	5	464		11	514
	6	435		12	524
	7	438	31	1	486
	8	462		2	469
	9	450		3	481
延べ利用者数 計					5586人

7. 給食

- ・1日1回給食を提供し、利用者より材料代として230円の支払いを受ける。
- ・食中毒並びに感染症の予防として流行時には生ものを中止する。
- ・利用者の嗜好を大切に考え、給食委員会での利用者の意見を取り入れた献立を心掛けた。
- ・肥満傾向が多く見られることから、食欲と病気について、また、嗜好品の見直し、野菜を多く摂取する大切さを給食委員会で審議している。

8. 健康管理

① 嘱託医による健康診断（年2回）

② 施設内健康チェック（1回/月）… 体重・身長・血圧測定

③ 感染症予防対策について

- ・事業所入室の際の手消毒とうがいを徹底した。
- ・ミーティングの際、感染予防について、また、疾患した場合の対策等を審議して意識の向上を図った。
- ・体調の悪い人は、自ら伝えて休むか別の作業を行うようにした。
- ・感染症疾患が出た場合の予防対策マニュアルを作成中。

9. 防災訓練

地震、雷、火事、水害等の予期せぬ災害に見舞われることの多い現代、常日頃より、災害から身を守る方法を身につけるために訓練を行う。また、日常生活上の危機意識を向上させるための支援を行う。

- ・30年2月19日 消火器を使用した訓練を実施
- ・31年3月25日 消防署より署員を派遣してもらい訓練を実施
- ・月1回 消防器具点検（でんき110番）
- ・31年2月22日 消防署による立入検査

10. 実習生

実人数 13名

11. 見学

5名

12. 出張・研修

- ・キャリアパス
- ・サービス管理責任者
- ・防火管理研修
- ・虐待防止権利擁護研修

《生活介護事業「風舎・つるまち」》

1. 30年度の目標を振り返って

＜30年度事業計画での目標＞

利用者がそれぞれの居場所を見つける。

＜結果＞

1名の利用者が他事業所に移籍した。利用者同士のトラブルが起き、警察が介入するような大きな事故になった結果である。

その中であって、つるまち全体としては、利用者は落ち着き、後半はパニックも減少し、変化が難しい人も少しずつ変化を受け入れるようになり、安定した雰囲気を持て、家族や職員を喜ばしている。

2. 定員

20人（契約数 17人）

3. 利用状況

- ① 退所者 …………… 1名（男性、他事業所へ移籍）
- ② 地域別 …………… 日向市：13人、延岡市：1人、門川町：2人、椎葉村：1人
- ③ 障害支援区分 …… 区分6：3人、区分5：6人、区分4：7人、区分3：1人
- ④ 利用者数

年	月	日数	現員	延べ利用者数	年	月	日数	現員	延べ利用者数
30	4	22	18	353	30	10	23	18	351
	5	23	18	377		11	22	18	341
	6	22	18	361		12	23	18	333
	7	23	18	373	31	1	23	18	327
	8	23	18	377		2	20	18	299
	9	22	18	347		3	23	17	333
延べ利用者数 計									4172人
一日平均※									15.5人

4. 職員体制

職 種	常勤・専従	常勤・兼務	非常勤・専従	計
管理者兼サービス管理者		1		1
生活支援員	5		2	7
看護師	1			1
事務員			1	1
運転手			1	1

6. 利用者のサービス内容

(1) 主な行事

月	行事内容
4	花見
5	県スポーツ大会、健康診断
6	きずな田しろかき田植え
7	七夕まつり、焼肉会
8	ひよっどこ祭り、お盆休暇
10	日向市スポーツ大会、日帰り旅行（大分杉乃井ホテル）
11	ドリームアート出展
12	クリスマスパーティ、ふれあいフェスタ、年末休暇
1	お正月、もちつき大会
2	健康診断、節分、福祉のつどい、カフェさんく作品展示会
3	ひな祭り

(2) 介護・支援内容

I 表現活動

■目的： 個人に合った表現方法を見つけ、情緒の安定を図り、伝える力を向上させる。

■内容： ① パフォーマンス活動 … ダンス

② 創作活動

・さをり織 … 経糸の張り方をマスターする（3名）

糸の色や布の幅を選択する。織ったものを製品とする。

・絵画教室 … 坂元金一教諭（月1回）

2月…「点とてんと展」絵画等作品展示会（カフェさんくにて）

③ 調理実習

・昼食、焼き菓子、かりんとう等を調理し、全員で試食する。

・かりんとうは販売し、一時金に充てる。

・宮崎県民生協からの依頼でクッキーを製造し、一時金に充てる。

④ ウォーキング … ほぼ毎日屋外で個別に支援を行う。

⑤ 個別支援

・利用者の状態に応じて個別に支援を行う。

・利用者誕生日には個別に支援を行う。

II 生活学習

■目的： 日常生活を生きる学習として、豊富な経験を提供する。

■内容： ア) 公共機関の利用（図書館・市役所等）

イ) おしゃれ、身だしなみ、整容の学習

ウ) お金、時間の学習

エ) 言葉、礼儀の学習

オ) ルールの学習、計画を立てる学習

カ) イベント、旅行等

Ⅲ 働く（事業計画の工賃発生を伴う作業の確保は出来なかった。時間の制約や納期の関係）

■目的： 作業を通して役割を認識する。

■内容： リサイクル回収、かりんとうやクッキーの製造及び販売、さおりの販売、絵画の販売
一時金の支給…リサイクル等の売上収益を「一時金算定基礎表」に基づいて利用者に
配分する。

月	金額	備考
平成 30 年 8 月	5,000×18 人	上半期 1 人分
12 月	10,000×18 人	下半期 1 人分
計	270,000 円	

※収益が月に 1 人 1,000 円に満たないため、月々に支払わずにまとめて支払う。

（メンバー及び家族との協議の結果）

7. 給食

- ・ 1 日 1 回給食を提供し、利用者より材料代として 230 円の支払いを受ける。
- ・ 食中毒並びに感染症の予防として流行時には生ものを中止する。
- ・ 利用者の嗜好を大切に考え、利用者の意見を取り入れた献立を心掛けた。
- ・ 咀嚼できない人、嚥下の困難な人には、細かくカットする等、職員が 1 対 1 で食事介助を行う。
- ・ 肥満傾向が多く見られることから、食事の量・内容ともに個別に対応している。

年	月	回数	延べ食数	年	月	回数	延べ食数
30	4	18	280	30	10	21	306
	5	23	440		11	19	285
	6	19	304		12	21	331
	7	23	348	31	1	20	275
	8	20	321		2	19	273
	9	20	304		3	21	290
延べ食数 計							3757 食

8. 健康管理

- ① 嘱託医による健康診断（年 2 回）
- ② 体温・体調チェック（毎日）
- ③ 施設内健康チェック（1 回/月）… 体重・身長・血圧測定
- ④ 感染症予防対策、事業所入室の際の手消毒とうがいの徹底。

9. 送迎利用

年	月	延べ利用者数	年	月	延べ利用者数
30	4	387	30	10	413
	5	440		11	389
	6	392		12	473
	7	437	31	1	396
	8	482		2	347
	9	435		3	390
延べ利用者数 計					4981 人

10. 防災訓練

災害から身を守る方法を身につけるために訓練を行う。また、日常生活上の危機意識を向上させるための支援を行う。

- ・月1回 津波や火事等を想定しての避難訓練（防災管理者：藤原政宏・松浦雄太郎）
避難場所（旧千代田病院、富島高校）

11. 見学

- ・ひまわり支援学校職員 14名
- ・小規模多機能「こぼる」 2名
- ・県職員 2名

12. 出張・研修

■出張研修

- ・キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）：2名
- ・福祉の基礎知識習得研修：1名
- ・障害者理解とコミュニケーション研修：2名
- ・キャリアパス対応生涯研修（中堅職員コース）：1名
- ・メンタルヘルス研修：2名
- ・リスクマネジメント研修：1名
- ・発達障害研修：1名
- ・記録技術向上研修：2名
- ・虐待予防研修：1名
- ・サービス管理責任者研修：1名

■施設内研修（月2回ほど金曜日に研修）

- ・利用者同士のトラブル事故の検証について学習（9月22日発生）
 - ① 原因と今後の予防をKJ法で考える（夜）
 - ② 月2回金曜日振り返りや分析を行う（9月～2月）
 - ③ 事故防止マニュアル作成（職員）
 - ④ 2月1日解決のため関係者が集合してワークを実施。
- ・虐待予防研修（フィードバック）
- ・リスクマネジメント研修（フィードバック）
- ・理念・倫理・行動規範研修
- ・記録・支援計画等研修
- ・サービス支給決定に至る流れ等障害福祉制度の研修

13. 保護者会

隔月

《共同生活援助事業所「どれみふぁ荘」》

1. 30年度事業計画の目標と結果

<30年度事業計画での目標>

地域の中で地域に求められるホームを目指す。

～環境整備・メンバー主体・質の向上～

<結果>

～環境整備～

老朽化に伴うホームの新しい移転先検討など具体的な動きができなかった。次年度は耐震のこともあり「待ったなし」ではあるが、経営状況を踏まえて慎重に議論していくことが必要と考えられる。

～メンバー主体～

自治会を通して、それぞれのホームで自分たちの意見を話してもらった。全体会の開催を予定していたが、準備不足等もあり達成することができなかった。

各ホームでの食事会やお出かけも、以前に比べて充実していたように感じるが、メンバー主体と言うより職員が主体になっている感が否めなかった。

下記の「質の向上」にもつながるが、本人主体に関する研修が必要であると考ええる。

～質の向上～

看護師や介護施設出身者の入職など向上していると評価すべき点はあるが、チームでの仕事としては、もっと議論の余地があると考えられる。支援される側、する側だけではない部分の考え方をもっとチームとして深めていきたい。

2. 定員

施設名	定員	現契約数
どれみふぁ荘	5名	5名
どーなつ荘	5名	5名
みんなの家	6名	4名
ふあいとハウス	4名	3名
あおぞら	5名	5名
計	25名	22名

3. 利用状況

- ① 入居 …… 平成30年6月 男性1名
- ② 退居 …… 平成30年9月 男性1名
- ③ 地域別 …… 日向市：17名、延岡市：1名、美郷町：1名、椎葉村：2名、えびの市：1名
- ④ 障害支援区分 …… 区分6：1名、区分5：2名、区分4：6名、区分3：4名、区分2：1名、区分1：2名、非該当：6名（区分5から区分4に変更：1名）

⑤ 延べ利用者数

年	月	日数	延べ利用者数	年	月	日数	延べ利用者数
30	4	30	652 人	30	10	31	668 人
	5	31	670 人		11	30	650 人
	6	30	649 人		12	31	661 人
	7	31	693 人	31	1	31	654 人
	8	31	689 人		2	28	605 人
	9	30	654 人		3	31	674 人
延べ利用者数 計							7919 人

4. 職員体制

職 種	常勤・専従	常勤・兼務	非常勤・専従	非常勤・兼務	計
管理者		1			1
サービス管理責任者		1			1
生活支援員	1		2	1	4
看護師	1			1	2
世話人			10	1	11

<人事>

雇用区分	月	入職	退職	異動
正職員	9月	1名		1名 (B型→ホーム)
	1月		1名	
パート	6月	1名		
	8月	1名		
	10月		1名	

5. 利用者のサービス内容

以下のサービスを、個別支援計画並びに各自治会での意見に沿って提供する。

サービス種類	サービス内容
相談及び援助	利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を行う。
食 事	世話人が栄養と各人の嗜好を考え、バラエティーに富んだ献立を工夫し提供する。(食材費及び食事に係る水道光熱費はサービス対象外)
排 泄	排泄に関する介護を行う。
入 浴	入浴に関する介護を行う。
着替え、整容等	身だしなみ、清潔さには特に注意を払う。 利用者の好みにより、希望があれば付き添って購入する。 季節による衣替え、整理・整頓。
活動支援	地域行事への参加促進。 地域商店への単独買い物等を支援し、自主性を育てる。 自治会運営の補助。

健康管理	<p>嘱託医師により、診察日を設けて健康管理に努める。</p> <p>常時、世話人等により、観察・疾病予防・健康管理に努める。</p> <p>また緊急時は、必要によって主治医あるいは協力医療機関等に責任を持って引き継ぐ。</p> <p>利用者が外部の医療機関に通院する場合は、その付き添い等について配慮する。(付き添い料が掛かる場合あり)</p>
入院等に関する支援	<p>職員が家族等に代わって入院期間中の支援を行う。</p> <p>※但し、入院時支援加算の算定内とする。</p>

6. 利用者日中活動状況

- ・就職者 …………… 甲斐農園、グローバルクリーン、ミスターマックス
- ・障害福祉サービス利用者 …… キャッチボール、日向共働社、絹の道、福丸縁、HRC+、スマイルホーム 360、風舎、風舎つるまち
- ・その他サービス …………… 永寿園、あったかホーム愛あい

7. 利用者による自治会開催

■全体自治会 (1回/年) 未達成、毎月各ホームで1回

- 内 容
- ・役割の確認 (掃除・後片付け・戸締り)
 - ・世話人及び風舎への要望 (ホームの評価)
 - ・個人の問題を全員で考える等々
 - ・各ホームミニ自治会開催
 - ・合同イベント 4月1日花見 (都農ワイナリー)

8. 防災訓練

地震、雷、火事、水害等の予期せぬ災害に見舞われることの多い現代、常日頃より、災害から身を守る方法を身につけるために訓練を行う。特に夜間訓練の必要度が高い。

- ・津波や火事等を想定してのミーティングや避難訓練：年4回
(防災管理者：黒木隆)
- ・防犯警備会社 (ALSOC) との契約締結

9. 地域との関わり

- ・リサイクル整理 (長江地区) 参加

10. 研修

- ・強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践 (福岡県) … 1名
- ・社会福祉法人理事研修 (宮崎県) … 1名
- ・宮崎県相談支援従事者初任者研修 (宮崎県) … 1名
- ・宮崎県サービス管理責任者研修 (宮崎県) … 1名
- ・虐待防止研修 基礎 (宮崎県) … 2名
- ・虐待防止研修 管理者コース (宮崎県) … 1名
- ・虐待防止研修 施設職員コース (宮崎県) … 1名
- ・苦情解決セミナー (宮崎県) … 1名
- ・障害者アートフェスタ (大分県) … 1名

・法人内研修・・・世話人研修：毎月1回、うち1回は虐待防止研修

11. 保護者会

・あおぞら保護者会（隔月）

12. その他

・各ホーム日中支援（掃除、食事作り、BBQ、夜間外出、墓参りなど）

《短期入所「あおぞら」》

1. 30年度事業計画の目標と結果

＜30年度事業計画の目標＞

利用者及び家族が安心できる場として機能する。

＜結果＞

前年度と比べて受け入れ態勢も整い、新規利用者も増えた。利用者、職員ともに負担にならないように行っていきたい。

2. 区分・定員

併設型・2人

3. 利用状況

常時1室(2床)

年	月	日数	延べ利用者数	年	月	日数	延べ利用者数
30	4	30	10人	30	10	31	8人
	5	31	6人		11	30	13人
	6	30	6人		12	31	13人
	7	31	8人	31	1	31	12人
	8	31	5人		2	28	10人
	9	30	8人		3	31	15人
延べ利用者数 計							114人

※上記とは別に食事のみの利用：11人

4. 職員体制

職 種	常勤・兼務	非常勤・専従	備 考
管理者	1		
支援員		1	
生活支援員	1		グループホーム「あおぞら」職員

5. 支援内容

グループホーム「あおぞら」の一員として支援する。

- ① 食事の提供・介助
- ② 入浴・トイレの介助
- ③ 余暇支援
- ④ 基本的な生活習慣の支援

《特定計画相談支援事業所「相談室・トレートール」》

1. 目標

利用者中心のサービス利用計画のシステム構築

2. 契約数

年度初め 38名（年度末 44名）

3. 職員体制

職 種	常勤・兼務	非常勤・専従	備 考
管理者	1		
相談支援専門員	1	1	非常勤職員：H30.9月より開始

4. 年度実績

- ・サービス利用等支援計画作成・・・16件（日向市14件、門川町2件）
- ・モニタリング実施・・・・・・・・・・・・91件（日向市78件、門川町8件、えびの市5件）

計 107 件

5. 業務内容

- ・サービス利用計画作成
- ・モニタリングの実施
- ・基本相談
- ・ケース会議
- ・家庭訪問
- ・担当者会議の開催
- ・関係事業所等との連携

6. 研修

- ・障害者虐待防止
- ・権利擁護研修
- ・みやざきあんしんセーフティネット（宮崎市・延岡市）：2回

7. 会議

- ・日向市・東臼杵郡自立支援協議会（月1回）
- ・宮崎県障害者相談支援事業所連絡協議会（NSR）：2回